

岩手県における地域未来投資促進法の取組状況

2023年3月22日
岩手県

岩手県基本計画の概要

計画のポイント

本県の強みである自動車・半導体関連産業を基盤とする成長ものづくりや第4次産業革命のほか、先進的な農林水産業、3つの世界遺産等を活用した観光、様々な発展の可能性の有る文化・スポーツ、環境・エネルギー、ヘルスケア分野等の事業を対象とし、全域における好循環を生み出す。

促進区域

岩手県全域（岩手県盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）

経済的効果の目標

1件あたり平均35万円以上の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を140件創出し、これらの事業が促進区域で1.3倍の波及効果を与え、促進区域で約6,900百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑥のいずれか）】

- ① 成長ものづくり分野（自動車・半導体・医薬医療機器関連産業等の集積を生かした成長ものづくり等）
- ② 農林水産業・地域商社分野（農林水産品・加工品・伝統工芸品を活用した農林水産業・地域商社等）
- ③ 第4次産業革命分野（IT関連産業の集積を活用した第4次産業革命）
- ④ 観光・スポーツ・文化・まちづくり分野（世界遺産等を活用した観光、公民連携手法を活用したまちづくり等）
- ⑤ 環境・エネルギー分野（木質バイオマス、地熱等を活用した環境・エネルギー）
- ⑥ ヘルスケア・教育サービス分野（温泉等を活用したヘルスケア、ITを活用した教育サービス等）

【要件2：高い付加価値を創造すること】

- ・付加価値額増加分：3,500万円以上

【要件3：以下の経済的効果が見込まれること】

- ・区域内事業者間の取引額：10%増

《促進区域図》



制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置の創設
- ・情報処理促進のための環境の整備
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応、相談窓口などの総合的支援体制の整備

地域経済牽引支援機関

・いわて産業振興センター、岩手県工業技術センター、花巻市起業化支援センター、北上市産業支援センター、岩手県南技術研究センター、釜石・大槌地域産業育成センター、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手県水産技術センター、岩手県生物工学研究所、岩手県環境保健研究センター、奥州市鋳物技術交流センター、岩手県発明協会、国立大学法人岩手大学、公立大学法人岩手県立大学、独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校、岩手県立産業技術短期大学校、金融機関

計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで

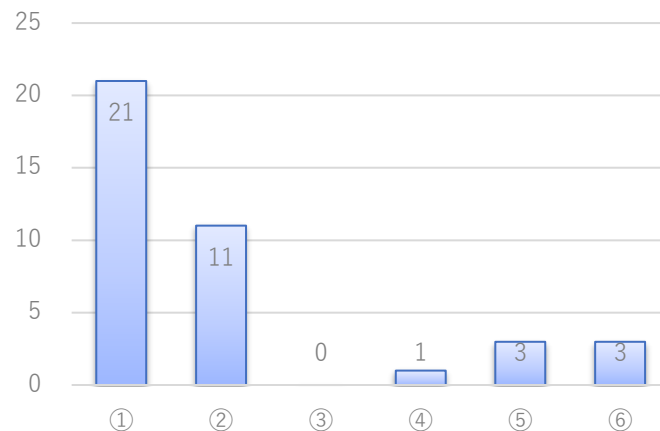
地域経済牽引事業計画の承認状況（令和4年12月時点）

○分野別集計

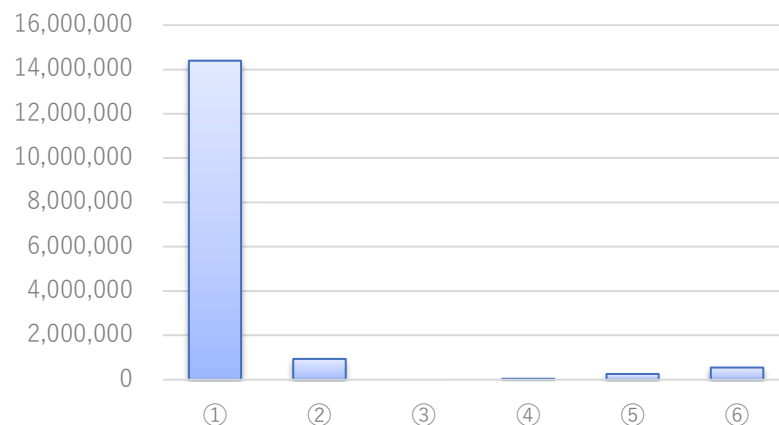
（単位：千円）

分 野	合 計	
	件数	付加価値創出額
①成長ものづくり分野	21	14,401,846
②農林水産業・地域商社分野	11	934,643
③第4次産業革命分野	0	0
④観光・スポーツ・文化・まちづくり	1	36,405
⑤環境・エネルギー分野	3	262,450
⑥ヘルスケア・教育サービス分野	3	545,052
計	39	16,180,396

件数



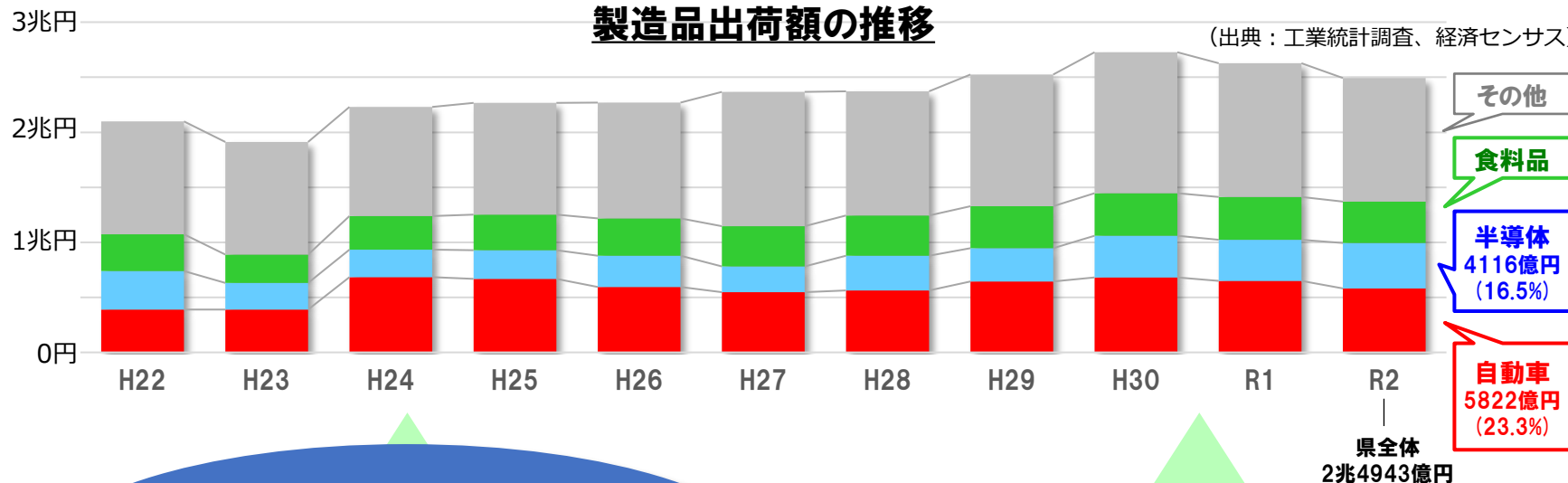
付加価値創出額



成長ものづくり分野の概況

製造品出荷額の推移

(出典：工業統計調査、経済センサス)



自動車関連産業

トヨタ自動車東日本(株)岩手工場
(アクア、ヤリス、ヤリスクロス等)

半導体関連産業

キオクシア岩手(株)(フラッシュメモリ)
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ
(熱処理成膜装置) など

医療機器等関連産業

第三の柱として期待する成長産業

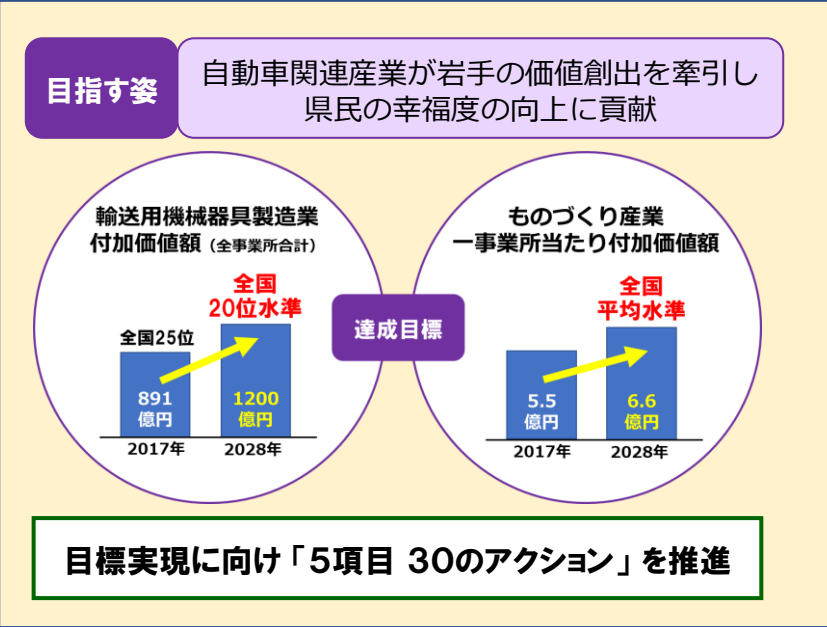
IT産業

あらゆる産業・社会の高度化や高付加価値化を支える基盤産業

ものづくり産業人材

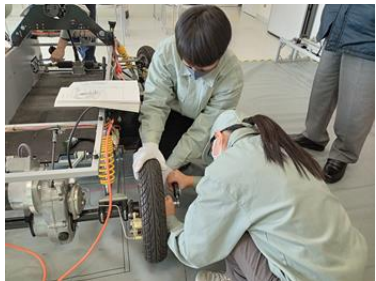
成長ものづくり分野の振興（自動車関連産業の例）

岩手県自動車関連産業新ビジョン (2019年9月策定)



いわて自動車関連産業集積促進協議会 (2006年6月設立)

概要	岩手県を自動車関連産業の一大集積拠点とすることを目的し、産学官が一体となった取組を進めるためのネットワーク組織
会員	県内の自動車関連産学官 377社・団体 (うち企業303社、2023年2月1日現在)
代表幹事	岩手県知事
幹事	トヨタ自動車東日本(株)、岩手大学 など 県内の主要な産学官機関の関係者 15名
主な事業	情報の提供・共有 県内企業情報の発信 技術展示商談会の開催 など



小型EV組立キットを
活用したEV技術者養成

トヨタグループ向け展示商談会

とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会

12/21-12/22 10:00-17:00

12/23-12/24 10:00-17:00

32企業出展



部品メーカーと
県内大学との連携

水産加工業など他業種への
トヨタ生産方式のノウハウ展開



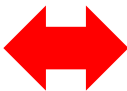
成長ものづくり分野の振興（半導体・医療機器・I T）

半導体 関連産業

**いわて半導体関連産業
振興ビジョン**

目標
半導体関連産業
付加価値額

2018年	→	2028年
1,163億円		5,000億円



**いわて半導体関連産業
集積促進協議会**

会員数
405（うち企業330）

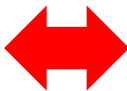
会長
キオクシア岩手(株)社長

医療機器等 関連産業

**岩手県医療機器等関連産業
イノベーション創出戦略**

目標
医療機器生産金額

2018年	→	2028年
281億円		575億円



**いわて医療機器
事業化研究会**

会員数
167（うち企業140）

会表
県内3社が共同で就任



いわて半導体アカデミー



ヘルステック・イノベーション・ハブ
（先端医療機器等開発拠点施設）

I T 産業



半導体メーカーとIT企業との
マッチング会

**いわて
IT産業成長戦略**

目標
I T 産業の年間売上高

2016年	→	2028年
342億円		850億円



**いわて
組込み技術研究会**

メール会員数
365名

会長
岩手県立大学准教授



I T 企業マップ

いわて産業振興センターの取組

《 地域DX促進活動支援事業 》

- ・地域企業のDX推進に向け、ヒアリング、課題分析・整理、戦略策定の伴走支援
- ・企業ニーズや課題に応じた支援体制を構築



いわてものづくりDX推進コミュニティ(IMDC) — 循環型DX推進を支援する地域連携コミュニティ —

伊藤 憲三
(課題解決に必要な
手法への仕分け)



代表団体:  いわて産業振興センター(産振C)

【事業統括・担当】ものづくり振興部 産学連携室

【コーディネーター】・伊藤憲三 ・小柏美津夫

- ・企業のニーズ収集 ・DX周知活動 ・課題整理
- ・戦略策定の伴走型支援 ・ソリューション提供事業者とのマッチング支援



小柏 美津夫
(企業のニーズ収
集・課題ヒアリング)

専門的知見・ノウハウを持つDX推進パートナー

県内ITベンダー、Tech系ベンチャー 等

(株)システムベース、(株)ビットエイジ、
(株)長島製作所、(有)イグノス

- ・課題解決のために必要なノウハウやソリューションの提供
- ・自社製品を活用したユーザー企業への支援
- ・地域企業が連携したIT人材育成

県内高等教育機関

岩手大学、岩手県立大学

- ・課題解決のために
必要なノウハウの提供

産業支援機関

岩手県よろず支援拠点

- ・課題分析・戦略策定
伴走型支援(経営)

ビッグ
データ



AI



5G



クラウド



デジタル化・DXのニーズ・課題を持つ地域企業

地域未来投資促進法と連携した地方創生推進交付金の活用

岩手県における 地域未来投資促進法と 連携した地方創生推進 交付金の活用事例

10件

《令和5年3月現在》

※東北6県では平成29年度2次～
令和3年度公募において36件が
採択されている

いわて型テロワールによる地方創生プロジェクト（二戸市）

- ① ウニの蓄養事業を基軸としたローカルブランディング事業（洋野町）
- ② 医療機器産業の育成と雇用創出による地域課題解決事業（洋野町）

地域に根付いた「盛岡ヘルステック・クラスター」形成促進事業（盛岡市）

健康機能を有する農林水産物の活用による地域振興プロジェクト（岩手県）

- ① 自動車産業集積化加速ローカル連携・グローバル展開プロジェクト（遠野市）
- ② 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト（遠野市）

製造業の強化による産業の重層化と「IoTのまち」創造事業（平泉町）

平泉町では、ものづくり企業及びIT企業が連携し、ITのチカラを習得して地元で起業・就職を希望する者を対象に短期集中型のプログラミング講座「スパルタキャンプin平泉町」を開設（2022年7月）



三陸沿岸に最適な周年生産施設型農業による夏イチゴ産地化プロジェクト（大船渡市）

ピーカンナッツの生産・流通基盤構築による地方創生プロジェクト（陸前高田市）